

# はらむら



# 議会だより

## 第114号

平成25年8月9日発行

発行／長野県諏訪郡

原村議会

編集／議会広報編集委員会

TEL 0266-79-2111

FAX 0266-79-7951

☎ 391-0192



原村ポンプ操法大会

■平成25年■  
**6月**  
**定例会**

- 就任のあいさつ…………… 2
- 委員会の構成…………… 3
- 第1回臨時会・組合議会報告…………… 4
- 6月定例会…………… 5
- 委員会報告…………… 6
- 一般質問…………… 8
- 議会日誌…………… 12

# 就任のあいさつ

議長

小平 雅彦



副議長

長谷川 寛



## 議長就任挨拶

村民の皆様には、平素議会活動にご理解とご支援を賜り心より感謝申し上げます。

このたび、5月臨時会において議員各位のご推挙により、議長に就任いたしました。改めて責任の重さを痛感し、身の引き締まる思いです。

原村は、八ヶ岳山麓の風光明媚な高原の村、伝統と

文化の息づく村、高原野菜の産地として発展しています。こうした歴史、文化、産業を生かし、今後も村政発展のため、村民の一体感を醸成するとともに、皆様の多様な意見が村政に反映出来るよう公平で公正、開かれた議会運営に誠心誠意取り組みたいと思っております。

地方分権時代を迎えて、地方自治体の権限や役割が

拡大する中、二元代表制の一翼として、自治体の意志決定や執行機関の監視、評価機能にとどまらず、議会の政策形成機能を發揮していくため、議員一人一人が自己研鑽に努め、議会の積極的な活動を図ってまいりたいと考えています。

なにとぞ、皆様方の一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## あしたの村づくりに向けて

副議長にご推挙いただきました。よろしくお願いいたします。

歴史ある原村議会は、先験的な取り組みを積極的に行って参りました。

一般質問の一问一答形式や、質問時間の確保。

中学生議会や、議員報告懇談会の開催など、開かれ

た議会への試みも行ってきました。

議員の自主性を重んじ、議案の審議も丁寧な資料、説明を求める伝統もあります。

それだけに、議員一人ひとりの行財政に関する勉強が求められています。

また、村の様々な施設が老朽化していることもあつ

て、どのような施設の改修が必要になるのか、村の形を作る重要な時期を迎えています。

原村議会へもたくさんの方の意見をいただき、行政へ提言ができる議会にしたい。ために、全力を尽くして議長を補佐していきたいと思

います。原村議会に対する皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

# 常任委員会の構成

副委員長



鮫島和美

委員長



宮坂早苗

## 社会文教常任委員会

副委員長



小池利治

委員長



矢島昌彦

## 総務産業常任委員会

委員



長谷川寛

委員



小池和男

委員



五味武雄

委員



日達徳吉

委員



木下貞彦

委員



小林庄三郎

## 諏訪中央病院組合議会議員

小林庄三郎

長谷川寛

木下貞彦

鮫島和美

## 南諏衛生施設組合議会議員

小池利治

宮坂早苗

## 諏訪南行政事務組合議会議員

小平雅彦

小池和夫

## 諏訪広域連合議会議員

鮫島和美

矢島昌彦

副委員長

五味武雄

木下貞彦

小林庄三郎

委員長

委員

## 議会運営委員会



# 第1回臨時会

平成25年第1回臨時会は5月8日に開催された。原中学校教室棟大規模改修工事の請負契約締結など、村長提出議案6件を審議した。  
また、正副議長選挙及び一部事務組合等の議員選挙を行った。

◎税条例の一部改正  
(専決処分)

◎国保条例の一部改正  
(専決処分)

◎延滞金徴収条例の一部改正  
(専決処分)

◎24年度一般会計補正予算  
(専決処分)

◎中学校大規模改修請負契約締結  
契約金額 総額6千405万  
円

◎原村監査委員選任意



## 平成25年第1回臨時会 審議結果

表記：○は賛成、×は反対、▽は退席、－は欠席

議案等 番号	議案名等	議員名										審議結果
		小池和男	宮坂早苗	鮫島和美	木下貞彦	小池利治	矢島昌彦	小平雅彦	長谷川寛	日達徳吉	小林庄三郎	
《村長提出》												
承認第2号	税条例の一部改正(専決処分の承認)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
承認第3号	国民健康保険税条例の一部改正(専決処分の承認)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
承認第4号	税外収入金に対する手数料及び延滞金徴収条例の一部改正 (専決処分の承認)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
承認第5号	平成24年度一般会計補正予算(第7号)(専決処分の承認)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
議案第36号	平成24年度繰越学校施設環境改善交付金 原中学校教室棟大規模改修工事請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

一部事務組合  
議会報告

南諏衛生施設組合

(富士見町釜無川沿いで、し尿処理、粗大ゴミ及び最終処分場の管理)

議長

名取 武一(富士見町)

副議長

長谷川 寛(原村)

監査委員

五味 平一(富士見町)

諏訪南行政事務組合

(茅野市高部の静香苑と茅野市米沢のごみ焼却施設の管理)

議長

細川 治幸(茅野市)

副議長

名取 武一(富士見町)

監査委員

小池 利治(原村)

清掃センター特別委員会

委員長

小松 一平(茅野市)

副委員長

宮坂 早苗(原村)



委員会報告

総務産業常任委員会

委員長 矢島 昌彦

一般会計補正予算他4件。陳情1件について審査した。

また、公共交通とエコヴィレッジ構想について調査した。

◎対策本部条例について

海外で鳥や豚のインフルエンザが変異し、人間に感染した新型インフルエンザが日本国内に入ってくる可能性がある場合、水際で阻止するのは難しい。

国は、一部地域等で新型インフルエンザが蔓延しそうですねとき、非常事態宣言を発令する。そのとき原村が対策本部を設置するための条例。

◎一般職員の給与に関する条例の一部改正について

新型インフルエンザ等対策特別措置法が新しくできたことで、給与の規定第2条と災害派遣手当の支給第34条の一部改正。

事務調査報告

◎原村公共交通の調査

・利用状況

原村循環線の利用者数は平成22年10月～平成25年3月の30ヶ月間で2万8千216人利用した。運行開始当時は500～600人程であったが平成24年度は月平均で1千100人の利用者があり、約2倍の大幅な増加となった。

また、一日の平均利用者数は53人になり、実証運行向けに設定した17人を大きく上回った。

・本格運行に向けた課題として、国庫補助率が下がったり、無くなったとき問題が出る。

原村循環線は住民に浸透が図られていて、満足度調査は運行本数、ダイヤに対し82・2%。全般の満足度はほぼ100%。担当係の情報収集発信が適時に行われ、

◎陳情

・政府に「TPPへの参加はしない」ことの意見書提出を求めるもの。

意見書提出

全会一致

(千円)

乗務員の親切的な対応が住民利用者に喜ばれている。

公共交通運行実績	原村循環線	穴山線
事業費	17,000	8,300
運賃収入	3,000	3,750
国庫補助	11,000	2,700
原村の赤字補填額	3,000	1,100
茅野市の補填額		750

◎エコヴィレッジ構想とサステイナブルハウス建設・農山村活性化プロジェクト計画の調査報告

清水村長の選挙公約であり、議員の一般質問では、農産物加工所などの建設を望む質問もあった。

平成24年2月28日の議会全員協議会で特別顧問及川氏のサステイナブルハウス構想と計画の説明を受けた。

加工所、直売所について2回開いた検討委員会だけで、結論が出ていないのに24年3月補助申請してしまい、採択された。住民の協力があってやっと出来上がる事業が住民意見を無視し、特別顧問と担当課で計画を押し進めたやり方では村民は納得できない。

担当課は採択ありきの企画でなく、住民要望を取り入れ、時間をかけて合意形成に取り組み村民のための事業計画をすべきである。ただ採択された事業が実行できないのは村の信用を失う。

年度	事業内容	状況
平成24年度	サステイナブルハウス建設案 場所 樫の木荘南テニスコート 規模 木造2階建て317㎡ 事業費 83,650千円 全てのエネルギーを自然エネルギーでまかなう	
平成25年度	農産物加工所の建設案 設置場所 事業規模 事業費は未定	現在、2回の検討委員会を開き検討中



# 社会文教常任委員会

委員長 宮坂早苗

一般会計補正予算。請願1件、陳情2件について審査した。

## ◎25年度一般会計補正予算(第1号)教育費

○全会一致で可決すべきものとする。

・コミュニティ助成事業で原村歴史民族資料館が助成をうけて実施する事業。

事業名称は、茅野市出身の写真家「小林紀晴氏の写真展」で、時期は、7月6日～9月16日を予定。

## 請願の審査

◎生活保護基準の引き下げはしないことなど国に意見書提出を求める請願書

・憲法25条が保障する「健康で文化的な最低限度の生活」をおびやかす生活基準の引き下げはしないこと。

○賛成少数で不採択とす

べきものとする。

賛成1、反対3

☆基準レベルの引き下げは、様々な受給レベルの引き下げにつながる。一般の人にも影響を及ぼすので、引き下げをすべきではないとの賛成討論があった。

☆不正受給の対策強化の検討・国における就労支援などを行うべき。社会保障制度・雇用保険制度含めた生活保護基準の見直しを行うべきとの反対討論があった。

## 陳情の審査

◎「義務教育費国庫負担制度」の堅持に関する陳情書

○全会一致で採択すべきものとする。

・国庫負担率を2分の1

に復元すること。  
・国庫負担から除外した経費を復元すること。

◎35人学級の早期実現、教職員定数増を求める意見書提出に関する陳情書

○全会一致で採択すべきものとする。

・35人以下学級の早期実現、教職員定数増を求め

る。  
・長野県は、独自で35人以下学級を小・中全年で実施しているが、国で実施すれば長野県負担もなくなる。

## 事務調査報告

○地域活動支援センター

・現在6名利用(定員10名)、憩いの場、居場所づくりの活動が中心である。

○原村地域福祉センター

デイサービスセンター  
・職員12名で業務を行っている。利用者の体調が悪いとき、診療所で診てもらえるのがメリットである。

・入浴場は、椅子のまま入浴可能、職員の負担も

軽減されている。階上なので、非常時の対応が困難、1階であることが望ましい。

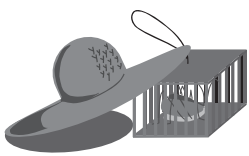
○保育所

・未満児棟、現在38名(定員40名)、アレルギー食対応8名。

○子育てサロン

・週3回午前10時から正午まで、図書館2階を借りして行っている。常時20名利用、担当職員2名で対応。終了時間前に全ての玩具の片付けを毎回行っている。

・お母さんたちの交流・情報交換の場所となっている。



# 一般質問 村政を問う

## 南三陸町との 姉妹都市締結について

五味 武雄

### 準備を始めよう という段階



〔質問〕 5月14日、南三陸町の佐藤町長が来庁された。村よりの救援物資の送付、町民の心身の癒しのための村への4泊5日の招待、更に村役場職員のパ遣いに対し支援の礼を述べられた。そ

の中で、住民同士の交流が生まれており、双方から姉妹都市になってはどうか、との提案が出たと報道されている。そこで、村長の基本的な考えはどうか。  
〔村長〕 今現在は、南三陸町の方は災害復興が第一であり、締結の余裕はない。その方向に向かって基礎的準備を始めよう担当課長に指示している。

〔質問〕 県道197号線（払沢（茅野）J R中央東線坂室ガードの改修について。  
国土交通省が交通量調査を平成18年に発表している。内容は、①調査地点は払沢役場前、②24時間交通量は乗用車から貨物車まで含め合計5千431台であり、平日ピーク時間交通量は1時間当たり240台とのデータである。途中から茅野市の運動公園



## 村広報等でキャンペーンを 予定している

木下 貞彦

### 外来植物の蔓延防止策は

方面等へ行くことも考えられるが、相当数がガードを通過していると想定される。そこで、関係者より改修工事の実施についての個人的情報は得ているが、現時点での県の工事見込みはどうか。

〔課長〕 当該県道は災害時における第二次緊急輸送路に指定されている。県では今年度を始めとする県総合5ヵ年計画の中で当該箇所を、事業化に向けての調査実施等を検討する箇所位置づけている。

〔質問〕 原村では、特定外来植物（植物）、要注意外来植物にはどんなものがあるのか。また、蔓延防止策はどのようなものになっているか。  
〔村長〕 特定外来種はオオハシゴケ、アレチウリの3種、要注意種はハルザキヤマガラシ、ハルジオン、ヒメジオン、ブタクサ、外来タンポポ、セイタカアワダチソウ等がある。その繁殖力故に困るということになる。個人の土地まで入って抜くことは難しい。今後も周知と、駆除を呼び掛け、村広報等でキャンペーンを予定している。

野外焼却合わせて38件であった。村の条例では罰則はないが、法律では個人では、5年以下の懲役、1千万円以下の罰金またはこの併科、法人では3億円以下の罰金が科せられる。春の河川一斉パトロールでは、家電リサイクル法に当たるテレビ、冷蔵庫、洗濯機などは減少したが、ポイ捨てが相変わらず多くあった。  
〔質問〕 「日本で最も美しい村」連合へ加盟したらどうか。  
〔村長〕 加入の前から住民団体、行政が組織を立ち上げていく必要がある。加盟後も5年毎その計画が実施されているか再審査がある。地域資源が2つ以上あること、それを生かす活動があること、住民による工夫した地域活動を行っていること等、なかなか難しい。それに毎年100万円位かかる。河川にポイ捨てがなくなれば、加入する価値はある。今後とも研究をしていきたい。



# 原発ゼロを目指して

## 自然エネルギーへの転換を

鮫島和美

### 条件を整えながら進める

条件を整えながら進めている。小水力発電については、水量、冬の凍結、投資対効果等の問題もあり、困難である。



(9) 第114号 はらむら議会だより

(質問) かつて無い大惨事を引き起こした原発からの撤退を目指すには、積極的な自然エネルギーの導入と省エネを実現することが大切である。原発から脱却するため、原村の自然条件を生かして積極的に太陽光発電と小水力発電を推進すべきではないか。具体的な自然エネルギーの実用化によってこそ原村は「エコヴィレッジ」としての先進性を発信できるのではないか。

「村長」太陽光発電については、公共施設も含めて、過半数の賛成を必要とする

(質問) 省エネ対策の1つとしてLED電球の普及も必要だが、白熱電球と比較するとLED電球はまだまだ高い。せめて非課税世帯に対するLED電球購入の補助は出来ないか。

「村長」提案については研究させてもらう。

## 村長と議員の報酬を見直すべきでは

宮坂早苗

### 村長給料は高いランクではない



「と改めようとしている。これには自民党の古賀誠元幹事長も「絶対にやるべきではない。憲法はわが国の最高法規である」と表明している。96条のハードルを下げて、憲法9条を「改正」し、国防軍を設置して、日本を「戦争できる国」に変えようとしているが、この点についての見解を。」

「村長」この点については大変憂慮している。

(質問) 村税収入は減っている。今後10年村税が増えるていくことは考えにくい。また、特別職報酬審議会は長年開かれていない。今後住民の生活費にかかる負担は増えていく中、村長と議員の報酬について、適正かどうか見直すべきでは。

「村長」原村は、平成16年4月に現在の報酬額にして4月。特別職報酬審議会は、長年開いていない。それは、世の中の情勢が大きく変わっていないということでもある。町村長については、平均が70万円、最高は85万4千円、最低は41万3千円。現在の額は、諏訪地方では妥当な額である。

(質問) 「子どものいじめ・虐待防止条例制定」について、現在子どもを取り巻く環境は、長野県においても様々な問題がおきている。村として子どもを守っていくという姿勢を条例として制定したらどうか。制定するには、子どもの視点も大切である。大人だけで

制定するのでなく、子どもの意見、親が子育てできる環境の整備、教職員が教育に専念できる環境の整備なども含めて、制定されるべきだと考えるが。

「村長」全国的にも身近なところで、あつてはならない痛ましい事故、事件が発生している。強い憤りを感じる。いじめか虐待か判断基準に難しさもあり、条例を適用できるかどうか困難な面もある。村の宝である原つこの健全育成に村民総ぐるみで対応していくことが大切である。

(その他の質問)  
○公募委員の選考について  
○樹木等の維持管理費を予算化しては





# 道路幅員4m以上5m未満の道路について、地元負担金なしでできないか

小池利治

現在のところ、変える考えはない

〔質問〕主要道路の改良工事、改良舗装事業で道路幅員5m以上の道路の負担率はゼロである。道路幅員が4m以上5m未満の道路の事業費は100分の5の地元負担率である。地区内においても4m以上の道路を確保するのは難しい場所もある。4mあれば消防車や救急車も通れ生活面でも安心である。地元負担金をゼロにはできないか。

〔質問〕住宅災害での死亡者が多い。原村の住宅用火災警報器の設置状況は。「消防室長」全国平均で77・5%、長野県72・2%、諏訪広域67・4%。原村は77・6%である。

〔質問〕エコーラインの除雪が遅いせいか車のわだちが残り、それが凍って車の運転が非常に危険であった。事故が起きる道に危険防止対策をしてほしい。

〔村長〕除雪で足りないところは塩カルを散布して必要な安全対策はとっている。

〔質問〕原小学校のシンボルであるケヤキの保護について、南側のケヤキに腐りが入って、伐採するということだったが、根元からではなく生きているところを

残しての伐採でよかった。このケヤキを生かすため西側に土盛りをしてはどうか。「教育長」盛り土の効果があるのか専門家と対応しながら、保護していけば何百年も生きられると思う。



原小の「ケヤキ」伐採前日



# 議会報告

本来、3月議会終了後、予算が決まったところで議会報告懇談会を開くべきところ、新年度の方針が決まらず、会を開くことができなかつたことをお詫びします。

議会報告懇談会も10回を数え、各回ごとに2、3ヶ所におじゃましており、次はどこにしようかと悩んだこともあります。

17期の原村議会も三年目に入り、議会役員の改選が行われ、また新たな気持ちで議会活動の報告も行っていききたいと思います。

皆さんに共に考えていただきたいのは、国民健康保険税の2年連続の値上げです。

今の仕組みだと、医療費が上がり続ける限り、保険税も値上げしなければ、保険制度が崩壊します。

小さな自治体にできることは、激変緩和措置として一般会計からの繰入をどこ

まで入れていくか、ということになりそうです。

少子高齢化の問題も絡んでくるので、年金の問題と並んで、国民皆保険制度もどうしていくのかが問われています。

また、原村の公共施設で建て替えの時期がそろそろ来るものや、新しい機能や施設が望まれているものが沢山有り、メンテナンスだけで大きな予算が必要になっていきます。

学校関係はそろそろ改修の目処が立ってききましたが、保育所の給食室などはこれからです。

福祉センターや樅の木荘など、検討委員会ができましたが、これからの原村には何が必要か考えていかねばなりません。

みなさんも、どんな村を望むのか、議会へ多様な意見をお寄せください。

(長谷川 記)



大会を盛り上げる原村ラッパ隊

## 人権擁護委員 に推薦されました

清水	百瀬
任期 法務大臣委嘱の日から3年間	任期 法務大臣委嘱の日から3年間
己 <small>おとむ</small> さん (原山)	嘉徳 <small>かとく</small> さん (柳沢)

## 原村教育委員 にられました

戸谷	望月
任期 平成25年7月23日から平成29年7月22日まで	任期 平成25年7月23日から平成29年7月22日まで
佐知子 <small>さちこ</small> さん (菫蒲沢)	弘 <small>ひろむ</small> さん (富士見町 落合)

## 原村監査委員 にられました

小林
任期 平成25年5月8日から平成27年4月30日まで
庄三郎 <small>しんじろう</small> さん (中新田)



# 議会日誌

20日	原村商工会通常総会	22日	諏訪湖流域下水道促進協議会定例会
17日	正副議長あいさつ回り	24日	南諏訪衛生施設組合議会臨時会
8日	全員協議会	27日	諏訪南行政事務組合議会臨時会
1日	議会運営委員会	28日	茅野広域シルバー人材センター定期総会
5月	議会運営委員会	29日	茅野防犯協会連合会
26日	日本禁煙友愛会原支部定期総会	30日	茅野防犯協会連合会
22日	茅野防犯協会連合会	31日	茅野交通安全協会原支部定期総会
18日	見地区農作物価格安定対策事業運営協議会総会	5月	立沢区・広河原4区・原村との境界確認八ヶ岳(阿弥陀岳)開山祭
11日	茅野市・原村・富士見地区農作物価格安定対策事業運営協議会総会	6月	長野県町村議会議長会臨時総会他諸議会
9日	こひつじ幼稚園入園式	28日	原村地域包括医療推進協議会
3日	原中学校入学式	28日	諏訪広域連合議会代表者会議
2日	原保育所入園式	5月	5(14) 第2回原村議会定例会
4月	原小学校入学式	9日	東京原郷友会総会
3日	原小学校入学式	12日	全員協議会
2日	原中学校入学式	14日	議会運営委員会
11日	茅野防犯協会連合会	16日	消防ポンプ操法大会
18日	見地区農作物価格安定対策事業運営協議会総会	24日	茅野防犯協会連合会
22日	茅野防犯協会連合会	25日	景観と村づくりの会総会
26日	日本禁煙友愛会原支部定期総会	28日	諏訪広域連合議会代表者会議
28日	原村地域包括医療推進協議会		

**議会の傍聴にお出かけください**

次回(平成25年9月)の定例会は  
9月2日(月)開会の予定です。

お問い合わせは、議会事務局に(0266-79-7951)



## 編集後記

今期の原村議会も3年目に入り、議会役員の改選が行われました。

編集委員も顔ぶれが変わり、新たな気持ちで議会だよりを作っていききたいと思います。

原稿から割り付け、写真まで、議員だけで作る議会だよりは、字ばかりが多く、読みづらいところが多々ありますが、できるだけ工夫して、村の動き、議会の動きができるだけ伝えるような議会だよりにしたいと思っています。

(長谷川 寛 記)

### 編集委員会

- 委員長 長谷川 寛
- 副委員長 矢島 昌彦
- 委員 小林庄三郎
- 同 小池 利治
- 同 木下 貞彦
- 同 五味 武雄